

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号 住友精密工業(株) 本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

2020年 年始会開催

皆様新年明けましておめでとうございます。本日はご多用中のなか経済産業省大臣官房審議官はじめ、多数のご臨席を賜り心より御礼を申し上げます。

昨年は元号が平成から令和に変わり、新しい希望に満ちた時代へ願いを込めた、そういった時代が始まりました。皆様ご記憶に新しいように、日本でラグビーワールドカップが開催され、日本チームが大活躍し、日本中が大いに盛り上がったという事も記憶に新しいことであるように思います。その一方で、昨年は大災害の多い年でした。大型の台風が上陸し大規模停電、あるいは洪水といったような被害が発生いたしました。多くの方が被災をされました。ここに改めて被災された皆様に対して、お見舞いを申

上げたいと思います。



主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

2020年 年始会開催	1	今後の主要行事予定	6
第88回理事会の開催	3	月間行事概要	7
委員会開催・活動状況		統計資料	8
標準化事業/ISO対策事業	4		
標準化事業/規格事業	5		
技術調査事業	5		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

さて、昨今の経済情勢でございますが、ここ1・2年の大きな関心事はやはり米中の貿易摩擦・貿易戦争であったように思います。昨年の暮れに第1次合意がほぼなされ、双方が関税を掛け合うといった状態からやや落ち着きを取り戻した状態に移りつつあるというところではあったかと思いますが、その一方で、年明け早々これも記憶に新しいことではありますが、米国とイランの間で大変な緊張が高まるという事態になりました。あわや大規模な軍事衝突が起こるのかといったような事態まで進展したように思いますが、足元はやや落ち着きを取り戻しつつあると感じております。いずれにいたしましてもこういった地政学的リスクというのは引き続き大きなリスク要因であり、私どもが注意深く監視をしていかなければいけない事柄であるように思います。



その一方で世界情勢の動静でございますが、アメリカの経済は引き続き堅調であったように思います。順調な雇用環境に支えられて穏やかに成長を続けているという状況であるように思います。今年大統領選を迎えるわけですが、今年も堅調な動きが想定されているように思います。最も先程申し上げました様な大きな世界的な事件が発生しなければという条件付きであるように思います。

その中、日本の経済でございますが、7-9月期のGDPがプラス成長という事で、4四半期連続でプラス成長という状況は全体としてはまずまずであったのかと思います。設備投資は海外経済の減速もあってやや弱含んでおりましたが、国内の都市再開発の投資でありますとかあるいは人手不足に伴います省力化投資、研究開発分野への投資等々でまずまずの推移をしたと見ております。特に昨年の12月に災害復帰及び東京オリンピック後の経済活力の維持といったような観点から26丁円規模の経済対策が閣議にて決定されました。GDP押し効果で約1.4%という数値であります。こういったものも景気の背中を押してくれるのではないかと期待をしてい

る次第でございます。

さて一方私どもフルードパワー業界でございますが、昨年の数値を申し上げますと、油圧出荷額は、これはまだ12月の数値が完全に固まっておりませんので足元の推定値でございますが、一昨年比でマイナス4.4%の3,800億程度、一方空気圧は同じく一昨年比マイナス9.8%の4,300億程度ということでこちらはあまり芳しい結果ではございませんでした。一昨年大変好調であったという事を差し引きましてもやや苦戦した一年であったかなと思います。ただ一方今年これから目を向けてみますと、工作機械業界は年の半ばから後半にかけて底を打ち反転してくる、あるいは半導体製造装置業界におかれましては既に穏やかながらも回復を始められ、今年是对前年で8%程度の成長を予想されているという事で、全体といたしましては斑模様ながらの明るい光が見え始めたという様な状態にあるのではないかと考えております。

今年の工業会の取り組みでございますが、一昨年前から特に力を入れて行っております人材育成のための油圧技能士国家試験対策講座でありますとか、初級技術者のための講座でありますとか、そういった若手人材を育成するための、サポートするための取り組みは昨年に引き続き力を入れて参りたいと考えております。それに加えまして昨今のIoT、あるいはAIといった来るべきデジタル社会に向けての対応という事も考えていく必要もございまして。工業会の中に技術規格委員会を作りましてそういった検討・議論といったようなものを今年は初めて参りたいと思います。工業会といたしまして会員各社様に内外からの情報を収集ししっかり発信をする、さらに産学連携を一層強化するといった従来の取り組みもしっかり行いまして、微力ではございますが、日本のフルードパワー業界に貢献をして参りたいと考えております。

最後になりますが、会員各社様と、ここにご参集の皆様のご発展を記念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

続いてご来賓を代表して経済産業省製造産業局担当の上田審議官より、以下のご挨拶を頂きました。

皆様新年あけましておめでとうございます。令和初めての新年を迎えまして、そしていよいよ7月には東京オリンピック・パラリンピックが開幕を致します。前回の東京オリンピック・パラリンピックで

我々は戦後復興を見事に成し遂げた日本の姿を強烈に世界に発信を致しました。それから 56 年が経過しまして、再び東京で開催される大会を前に、この先進技術で様々な課題を解決するソサエティ 5.0 の基、次なるイノベーションこれをどれだけ生み出せるかが問われる年になっていると思っております。



安倍内閣が発足をいたしまして今年 8 年目を迎えました。その間一貫して経済最優先の政策に取り組んできており、確実に経済の好循環が生まれております。他方、先程会長からも話が御座いましたけれども、米中対立、イギリスの EU 離脱、そして昨今の中東情勢の不安定化など、世界の経済・情勢が不確実性を増しているところでございます。こうした不透明の世界にあつてこそ我が国は自由貿易の旗手として、自由で公正なルールに基づく国際経済体制を指導していく必要が御座います。目まぐるしい変化に直面するこの令和の時代、経済発展の鍵はやはりデジタル経済でデータを最大限に活用して、新たなビジネス、サービス、これを生み出していくことであります。デジタル市場のルール整備や、5G 時代の情報通信技術の確立など、これまでの発想にとらわれない大胆な施策を講じ、日本の中でのイノベーションの創出を強く後押しをして参ります。

製造業の現場についてで御座いますけれども、やはり若手技術者の育成が急務になってきております。若い力こそ次なる業界の成長に向けて必要不可欠であり、フルードパワー工業会では先程会長から話が御座いますけれども、業界を挙げて国家資格である油圧装置調整技能士の試験講座や新入社員を対象とした基礎講座を開催されていると伺っております。引き続き若手技術者の育成への強化にご尽力を頂ければと思っております。また、貴工業会では水圧につきましても、ADS 機器技術仕様調査委員会を設けて国際標準規格の体系構築でありますとか、原案の作成を実施されていると伺っております。油圧・空気圧だけでなく水圧の技術確立においても是非とも

我が国が世界をリードすべく、新たな挑戦に向けて検討が進められることを期待しております。

私の方から大変恐縮でございますけれども、この場を借りて 2 点お願いがございます。1 点目は下請事業者へのしわ寄せ防止についてであります。昨年 4 月から関連法が一部施行されまして、大企業の時間外労働規制が開始されております。適正な対価を伴わない短納期発注など下請け事業者へのしわ寄せが発生しないようあらためまして会員企業に周知働きかけ、これをお願い申し上げたいと思います。2 点目は就職氷河期世代の積極的な採用についてであります。人手不足が続く現在はこれまでなかなか進んでこなかったこの就職氷河期世代の方々の活躍の機会これを増やす絶好のタイミングであります。皆様におかれましてはこれまでの職歴のみに囚われることなく意欲、能力を持っておられる方々を是非積極的に中途採用されるなどご協力をお願い申し上げます。

今年は十干十二支の庚子にあたる年でありまして、新たな芽吹きと繁栄の始まりという意味を持つと聞いております。多くのチャレンジに乗り出すために非常に相応しい年であると思っております。オリンピック・パラリンピック後の未来を見据えまして経済の好循環の維持発展に努めていくことが重要だと考えております。最後になりますけれども本年がフルードパワー工業会の皆様方にとりまして益々の繁栄の年になることを心から記念をいたしまして私のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

その後、年始会に移り 16:40 頃に和気あいあいのうちに散会しました。



第 88 回理事会の開催

年始会開催の前の 13:25 より同ホテルで第 88 回理事会を開催しました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告を行い本理事会が有

効に成立している旨説明しました。石川会長が会議の開催を宣し、議事録署名人として監事2名を指名、また、ご来賓として陪席していた経済産業省製造産業局産業機械課の夏見係長殿を紹介しました。続いて、石川会長から第87回理事会以降の会長の業務報告を行い、以下の議事の審議に入り、議案は全て承認・了承されました。

第1号議案

2020年度事業計画及び収支予算(案)の件

2020年度の事業計画及び収支予算(案)は前年度中に理事会の承認を得ることが定款で定められているため、12月の月報で報告した2020年度事業計画及び収支予算(案)の内容を説明しました。また、併せて来年度の補助金等の申請状況についても説明しました。石川会長は本件を議場に諮り、異議なく承認されました。

第2号議案

第21回定時総会の開催の件

定時総会の開催に係る事項については、あらかじめ理事会の承認を得ることが必要です。そこで、本年5月21日(木)開催予定の定時総会に提案する議案について説明しました。議場の舩山理事の意見に従い、「役員改選に関する件」を「理事・監事改選に関する件」と訂正しました。石川会長は本件を議場に諮り、異議なく承認されました。

第3号議案

副会長の選任について

議長より、昨今の経済情勢の動きなどに対して、より柔軟かつ的確な対応を工業会として進めていくためにも、副会長を1名増員したいと考えており、議長は、議場の賛同をうけ、候補の自薦他薦を問うたが、候補が出なかったため、事務局より、東京計器株式会社 安藤 毅氏の推薦案が出されました。

議長は第3号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく推薦案の通りこれを承認可決しました。

その他

業務執行理事である専務理事の業務執行状況の説明と最近の出荷動向・今後のスケジュール等について説明しました。以上で審議を終え14:30に終了しました。

その後、14:50より「マグノリアルーム」において2020年 年始会の懇親会を開催しました。

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

#### 標準化事業/ISO 対策事業

~~~~~

空気圧継手・チューブ分科会

日時 1月29日(水) 13:00~16:00

場所 機械振興会館6-63 会議室

出席者 浅里主査以下6名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/SR 16030 については、対応する JIS において MOD で変更している内容を改正提案するか否かを期限までに各委員にて検討し投票することとした。

次いで、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。

次いで、ポケットブック改訂に関して、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

次いで、JIS B8381-1 (空気圧用継手-第1部:熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手)の改正について審議した。前回に引き続き、対応国際規格と対比しながら修正作業を行った。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「JIS B8381-1 の改正」を、新規で「JIS B8381-2 (空気圧用継手-第2部:熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手)の改正」を取り上げることとした。

次回開催:5月26日、機械振興会館

* ISO の動き

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO 5598:2020, Fluid power systems and components - Vocabulary

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/FDIS 10770-3, Hydraulic fluid power - Electrically modulated hydraulic control valves - Part 3: Test methods for pressure control valves

~~~~~

#### 標準化事業/規格事業

~~~~~

空気圧制御技術分科会

日時 1月24日(金) 13:00~16:00

場所 機械振興会館6-63 会議室

出席者 渡辺主査以下4名

事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。当分科会が関連する会議としては、5 月ロンドン会議での SC5/WG3 (空気圧制御機器) が該当するため、今後適宜、情報配信することとした。

次いで、ポケットブック改訂に関して、当分科会担当分について改訂案の最終確認を行った。

次いで、空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定について、原案に転記した各用語の定義を確認すると共に、必要箇所を修正した。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定」を取り上げることとした。

次回開催：4 月 10 日、機械振興会館

油圧システム分科会

日 時 1 月 28 日(火) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。当分科会が関連する会議としては、5 月ロンドン会議での SC9/WG1 (油圧システム) が該当するため、今後適宜、情報配信することとした。

次いで、昨年開催された JIS 原案作成委員会の報告があった。当分科会担当の JIS B8670 (油圧・空気圧システム及び機器—呼び圧力) の改正 (追補) に関して指摘事項を確認すると共に修正作業を行った。

次いで、ISO 1219-3 (Graphical symbols and circuit diagrams — Part 3: Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams) の JIS 化 (JIS B0125-3) について、原文と比較しながら原案作成作業を実施した。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、継続で「ISO 1219-3 の JIS 化」を、新規で「JIS B0142 (用語) の改正」を取り上げることとした。

次回開催：5 月 18 日、機械振興会館

空気圧流量測定分科会

日 時 1 月 31 日(金) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 妹尾主査以下 7 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて紹介があり、情報共有した。当分科会が関連する会議としては、5 月のロンドン会議で、SC5/WG3 (空気圧制御機器)、SC9/WG2 (空気圧システム) が該当するため、今後適宜、情報配信することとした。

次いで、次回の ISO/TC131 ロンドン会議の SC9/WG2 (空気圧システム) において、空気圧システムの省エネ最適化に関する規格立案に関してプレゼン予定の日本提案内容について討議した。

次いで、ポケットブック改訂に関して、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

次いで、JIS B8372-3 (空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第 3 部：減圧弁の流量特性の代替試験方法) の改正について、日本規格協会からの指摘に対する修正案について討議した。

最後に、今年度活動実績と来年度活動計画について討議した。来年度は、新規で「JIS B8390-3 (流量特性試験方法—第 3 部：システムの流量特性計算方法) の改正」を取り上げることとした。

次回開催：4 月 24 日、機械振興会館

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第 567 回特許分科会

日 時 1 月 24 日 (金) 13:00 ~ 17:00

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 河野幹事以下 4 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。1 件の公報が発行され、調査検討することとした。2 件について審議し、引き続き調査することとした。今回より河野委員の引継ぎとして後任の安田委員も参加することを確認した。2020 年度の特許分科会の開催日程についてオリンピックと重ならないように調整することとした。

次回開催：2 月 21 日 (金) 名古屋国際センター
第 5 会議室

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

*2020年

- ☆3月30日(月)第32回政策委員会
(時間) 16:00~17:00
(場所) JFPA 会議室
終了後 懇親会
- ☆4月17日(金)第89回理事会
(時間) 15:30~16:50
(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪
2F「コンファレンス N1-N5」
理事会懇親会
同上 17:00~18:30
2F「コンファレンス N5-N8」
- ☆5月21日(木)第20回定時総会
(時間) 15:30~16:50
(場所) 東京プリンスホテル芝公園
2F「サンフラワーホール」
総会後の懇親会
(時間) 17:00~18:30
(場所) 東京プリンスホテル芝公園
2F「マグノリアホール」
- ☆5月22日(金)第58回JFPA 懇親ゴルフ会
(場所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

- 主 査 渡辺敏之 (TAIYO)
委 員 楊春明 (SMC)
〃 金子幸夫 (コガネイ)
〃 鈴木一成 (妙徳)

- 油圧システム分科会
開催日 1月28日(火)
出席者
主 査 町田哲治 (東京計器)
委 員 伊藤隆 (KYB)
〃 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)
〃 土岐一巳 (東京計器パワーシステム)
〃 三浦克基 (豊興工業)
〃 柏野智 (油研工業)

- 空気圧流量測定分科会
開催日 1月31日(金)
出席者
主 査 妹尾満 (SMC)
委 員 佐々木政彰 (アズビルTACO)
〃 斉藤悠 (コガネイ)
〃 大竹崇 (CKD)
〃 石毛桂 (TAIYO)
〃 高沢清継 (日本ピスコ)
〃 香川利春 (東京工業大学)

(技術調査事業)

~~~~~  
1月に開催された当会各委員会に出席された皆様は  
以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

- (標準化事業/ISO対策事業)
空気圧継手・チューブ分科会
開催日 1月29日(水)
出席者
主 査 浅里信之 (ニッタ)
委 員 岩崎宏文 (イハラサイエンス)
〃 高梨暁人 (SMC)
〃 大場良太郎 (コガネイ)
〃 細谷映之 (アオイ)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

- (標準化事業/規格事業)
空気圧制御技術分科会
開催日 1月24日(金)

- 技術委員会空気圧部会第567回特許分科会
開催日 1月24日(金)
出席者
幹 事 河野喜之 (甲南電機)
委 員 井野雅康 (SMC)
〃 安田善仁 (甲南電機)
〃 今野英俊 (コガネイ)

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

- <1月>
6日(月)
・仕事始め
15日(水)
・年始会
・第88回理事会

24 日（金）

- ・標準化（委）空気圧制御技術分科会

24 日（金）

- ・技術（委）空気圧部会第 567 回特許分科会

28 日（火）

- ・標準化（委）油圧システム分科会

29 日（水）

- ・ISO（委）空気圧継手・チューブ分科会

31 日（金）

- ・標準化（委）空気圧流量測定分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
